

Oncoimmunology Mini-Symposium

In Sapporo

日時：2017年 7月24日(月) 13:00～16:10

会場：北海道大学遺伝子病制御研究所 5階セミナー室

ご挨拶 瀬谷 司 先生（北海道大学 特任教授）

第1部 ミニシンポジウム

第2部 特別講演 Guido Kroemer 先生（INSERM, France）

**“Nature and therapy-induced immunosurveillance:
a paradigm shift in oncology”**



Prof. Guido Kroemer

パリ・デカルト大学医学部教授、フランスINSERMの「アポトーシス、がん、免疫」ディレクター、Gustave Roussyがんセンターの「メタボロミクスおよび細胞生物学」ディレクターなど様々な研究組織を統括されています。特に、がん免疫に関わる最近の研究では、RIPK3をはじめとするネクロプトーシスの制御とがん免疫機構の関係を分子細胞生物学的に次々と解明し、がん免疫療法に新しい切り口を提供しています。

- 本シンポジウムは、全て英語での開催となります。
- 会終了後に情報交換会を医学部管理棟 大会議室にて行います。是非お越しください（軽食と飲み物をご用意いたします）。

【お問い合わせ】北海道大学大学院医学研究院 ワクチン免疫学分野 担当：飯塚

電子メール：iizuka@med.hokudai.ac.jp

TEL：011-706-8178（10:00～16:00 土・日・祝日を除く）